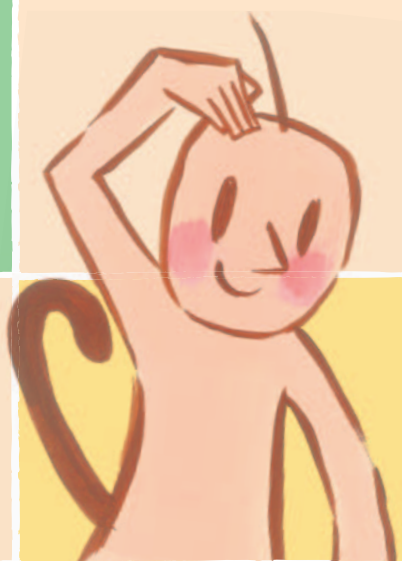


こんにちは せいてつ 病院です

2016
Vol. **103**
新年号

特集

肺がんの最新治療



- こんにちは探検隊 ひらたクリニック
- 健康チェックルーム オープン
- 2016年 新年のご挨拶 理事長・病院長 土橋 卓也
- せいてつNEWS FLASH2015
- 医療をささえる看護のちから



100年前から
100年先も

肺がんの最新治療

肺がんと聞いてどのようなイメージをお持ちでしょうか？怖い、治らない、そういったイメージが強いかもしれません。日本人の死亡原因で一番はがんであることはよく知られていますが、その中でも最も多いのが肺がんです。がんの中でも、治療が難しいものの一つではあります。肺がんの治療は手術、放射線治療、化学療法を3つを単独もしくは組み合わせて行います。肺がんの化学療法は以前までは副作用も多く、効果も限定的でしたが、近年新しい治療が行われるようになってきました。今回は進化する肺がん(特に非小細胞肺がん)の最新の化学療法をご紹介します。



はじめに

肺がんは持続する咳や血痰^{けつたん}などの自覚症状や検診などをきっかけとして、胸部X線写真や胸部CTで発見され、気管支鏡や外科的肺生検といった手法で病巣の一部を採取し、それを顕微鏡で観察することで確定診断となります。この顕微鏡の検査で小細胞がん、腺がん、扁平上皮がん、大細胞がんの4つのタイプに分けられ、後の3つをまとめて非小細胞がんと呼ばれます。また、頭部MRI、胸腹部CT、PETなどの画像検査で病気の拡がりの程度を調べ、Ⅰ～Ⅳ

期の病期に分類されます。治療法を選択するにあたってはこの病期が非常に重要となり、非小細胞がんの場合、Ⅰ期は手術単独、Ⅱ期とⅢ期の一部は手術および術後化学療法、Ⅲ期の一部は放射線治療と化学療法の組み合わせ、Ⅲ期の一部とⅣ期は化学療法単独で治療します。そのほかにも全身状態や年齢、合併症の有無や程度などを考慮して、総合的に最適な治療法を検討します。

非小細胞肺がんの化学療法

非小細胞肺がんの化学療法で使用する薬剤は、従来からある細胞障害性抗がん剤と比較的近年登場した分子標的薬に分類されます。

細胞障害性抗がん剤は細胞のDNAやタンパクを変性させたり、細胞分裂を抑えたりしてがん細胞を攻撃する薬剤で、その性質上がん細胞だけでなく、正常細胞も障害してしまい、副作用につながってしまいます。

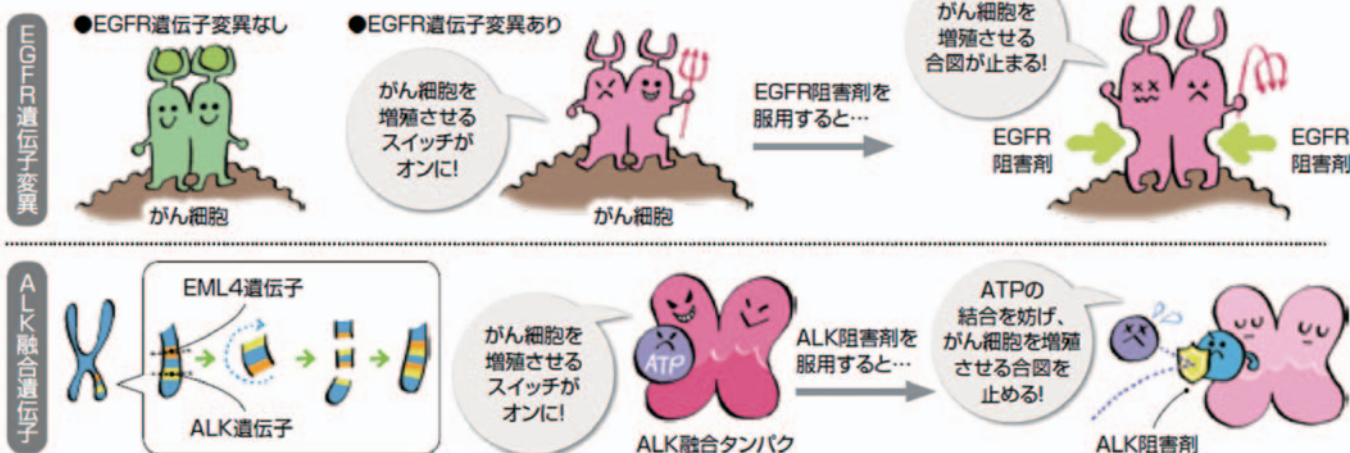
分子標的薬はがんの原因となる分子だけをターゲットとすることを目的に作られた薬剤ですが、残念ながら副作用がないわけではありません。

分子標的薬

肺がんにおいてはEGFR(上皮成長因子受容体)やALK(未分化リンパ腫キナーゼ)と呼ばれる特定の遺伝子に異常が起これると、そこから細胞増殖などのシグナルが送られ、がん化に大きくかかわることがわかっています。また、EGFRチロシンキナーゼ阻害剤やALK阻害剤はこれらのシグナルを抑制することによって効果を発揮し、従来までの細胞障害性抗がん剤よりも高い効果があることや効果の持続期間が長いことがわかっています。

現在EGFRチロシンキナーゼ阻害剤は3種類、ALK阻害剤は2種類あり、いずれも内服薬で、効果がなくなるか、重篤な副作用が出るまで継続します。間質性肺炎などの特徴的な副作用に注意が必要ですが、とても期待のできる薬剤といえます。

■遺伝子変異の仕組み



もっと知ってほしい肺がんのこと <http://www.cancernet.jp/haigan>より引用

おわりに

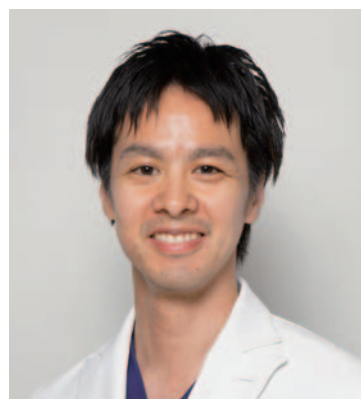
非小細胞肺がんの薬物治療の発達は目覚ましく、今後も新たな分子標的薬の研究が進められています。また、新たな治療として免疫チェックポイント阻害薬であるPD-1阻害薬やPD-L1阻害剤というこれまでとは全く異なる作用機序で、がんに対して効果を発揮する薬剤も開発中です。様々な治療がありますので、もし肺がんといわれたとしても、自分に合った治療を選択していくことが大切です。肺がんの薬物治療についてわからないことがあれば、かかりつけ医または当院までご相談ください。

内科外来 TEL 093-671-9302

呼吸器内科医長
中垣 憲明

なか がき のり あき

日本内科学会認定医
日本呼吸器学会専門医





院長 平田 静弘 先生
ひらた しずひろ

ひらたクリニック

今回、探検隊は2008年3月八幡駅のリニューアルに合わせ開院された「ひらたクリニック」を訪問しました。平田静弘院長は、北九州市において九州厚生年金病院(現JCHO九州病院)、新小倉病院、若松市立病院(現産業医科大学若松病院)と約11年勤務医としてご活躍された経験を活かし、現在は地域に根ざした医療を行っていらっしゃいます。

Q：先生のモットーをお聞かせください

A：私は1988年に自治医科大学を卒業しました。地域医療を担うために建立した大学に縁あって入学し、卒業後は、北九州市以外の時は大島村(現、宗像市大島)診療所をはじめ田舎で勤務していました。当時は今では考えられないような「医師過剰時代」「専門医重視の時代」でした。その中で、地域医療＝総合診療医(何でも屋)として過ごしていましたので、この経験が、開業しようと決意した要因の一つだと思います。モットーですが、医師になった時に「診断治療に困ったときは、自分の親兄弟だったら、どうするか？考えなさい」と恩師に言われたことが、すべての原点となっています。

Q：貴院の特色やPR点についてお聞かせください

A：当院は「お腹の疾患」と「消化器内視鏡検査」が得意分野と思っています。腹痛の患者さんを、きちんとしたタイミングで、手術適応の有無を判断できた時は、自分でもとてもうれしく思い、紹介した患者さんが無事に退院された時などは、さらにうれしく思います。もう一つは内視鏡検査です。専門的な診断治療は製鉄病院などの専門の先生にお願いし、私のできる仕事は、より早期のがんの発見をめざしたものです。早期がん発見の大切な部分としては、患者さんが「もう2度と内視鏡検査を受けたくない」とお思いにならないこと

だと考え、その点に注意を払っています。逐年検診という言葉がありますが、患者さんが、定期的に検査を受けていただくことが早期がん発見のためには必要と考えているからです。

Q：当院へのメッセージをお願いします

A：製鉄病院にはいつも助けてもらっています。急患の患者さんも快く引き受けていただけるので感謝しています。製鉄病院には勤務したことはありませんが、カンファランスやお見舞いに行く際、ゆったりした廊下、大きなエレベーター、病院のアメニティは「さすが製鉄病院」という感じです。



平田院長は、とても明るく気さくで、わたしたちの質問にハキハキと答えてくださり、リラックスして取材させていただきました。待合室には、インフルエンザの予防について手書きの掲示板があり、とても暖かみのある雰囲気を感じました。

ひらたクリニック

福岡県北九州市八幡東区西本町3-6-1
TEL 093-663-1415

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~13:00	○	○	○	○	○	○	△
14:30~18:00	○	○	△	○	○	△	△

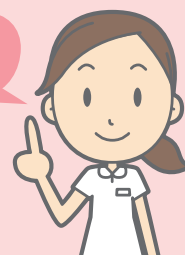


今回の探検隊

看護部
渡邊 恵
医事課
田代 美樹子
寺家 加代子

健康チェックルーム

OPEN!



2016年1月12日(火)、健康チェックルームが採血室にオープンします。

自覚症状がなくても、病気が徐々に進行していることがあります。

「病院に来たついでに」「健康診断を受ける機会がない」「健康について気になる」という方、健康チェックルームで、日頃から気になっている健康状態を把握してみませんか？

ご自身が選択したメニューにより、採血やエコー検査などを行います。



● 検査受付時間

月～金曜日
13:00～15:00 * 予約は不要です

● 検査

検査メニューよりご希望の検査をお選びください。

● 説明

結果について医師や臨床検査技師よりご説明いたします。



● 検査メニュー

- 血糖値が気になる
- コレステロールが気になる
- 貧血が気になる
- 腎臓の状態が気になる
- 痛風が気になる
- 前立腺が気になる
- 生活習慣病が気になる
- 健康が気になる
- 下肢動脈の血流が心配
- 肺年齢が知りたい
- 動脈硬化が心配
- 心臓病が気になる
- 骨密度検査 …など

お問い合わせ

健康チェックルーム
(検査部採血室内)

TEL 093-671-9563
(月～金曜日 13:00～16:00)

2016年 新年のご挨拶



理事長・病院長

土橋 卓也

つちはし

たくや



100年前から 100年先も

あけましておめでとうございます。

明治33(1900)年、官営八幡製鐵所の附属病院として設立された当院は、今年で117年目を迎えます。昨年10月にはホームページをリニューアルしました。見やすい画面、魅力的な内容を心がけ、皆さまに当院の情報を分かりやすい形でお伝えしたいと考えています。「100年前から 100年先も」というキャッチコピーには、100年以上前から地域の皆様に愛されてきた当院が100年先も変わらず地域を支える存在であり続けたいという想いが込められています。

当院はこれまで同様、地域での急性期型中核病院としての役割を担うことに変わりありません。一方で、すでに高齢化率が33%を超える八幡東区の病院としての役割を考えると、急性期医療に加えて回復期病床や訪問看護などの機能を合わせ持ち、地域住民のニーズに応える仕組みが必要だと考えています。これまで以上に、近隣の医療機関や医師会、行政との協議、連携を強化し、地域医療に貢献する所存です。

職員一同、心を合わせて地域の皆さまのご期待に添えるよう努力いたします。本年もどうぞよろしくお願いたします。

せいてつNEWS FLASH2015



3月

●出前講座開始



●内視鏡センター開設

4月



●血管造影装置更新



●入社式 82名

6月



●地域医療連携のタベ

7月



●高校生1日看護体験

8月



●ホームページリニューアル



●高校生ふれあい看護体験

10月



●中学生職場体験

11月



●糖尿病&減塩フェスタ

F外来



F外来は、医師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師による様々なチーム医療を行っており、看護師は多くの診療介助を担っています。

- 心臓カテーテル、血管造影検査(放射線科、脳神経外科)
- 透視(消化器内科)
- 造影CT・MRI、RI(心筋シンチ)

今回は心臓カテーテル検査と脳血管内治療の2つの検査における看護師の役割をご紹介します。

心臓カテーテル検査

手首や足の付け根の動脈からカテーテルを挿入し、心臓の血管に造影剤を流して狭心症(心臓の血管が狭くなる病気)や心筋梗塞(心臓の血管が詰まってしまう病気)の診断を行ったり、風船(バルーン)や金属(ステント)を用いて治療を行ったりしています。

通常、検査や治療は予約をして行っていますが、急性心筋梗塞など、生命の危機に瀕している患者さんの検査、治療は24時間体制で行っています。

脳神経外科の脳血管内治療

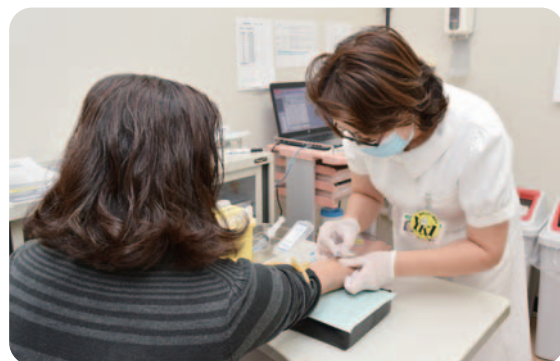
頭の血管にカテーテルを進め、動脈瘤にコイルという金属を埋め込み破裂を防いだり、細くなった血管に金属の筒を入れて広げ、脳への血流を維持したり、さらに頭の血管に血の塊(血栓)が詰まって起こる脳梗塞の治療の介助も行っています。

全身麻酔で行う外科的手術に比べると局所麻酔であるため身体への負担は軽いのですが、患者さんの不安や恐怖心は拭いきれません。

患者さんが安全で安心して検査や治療を受けることができるようF外来の看護師は患者さんの側に寄り添い声をかけながら介助を行っています。



検査中は血圧や心拍数、表情を観察しながら、処置ごとに声をかけをし、安心して検査が受けられるよう関わっています。



造影CT前はアレルギーの有無や腎機能、針を刺して良い場所などの確認をしっかり情報収集し、安全に検査が受けられるよう細心の注意を払っています。



造影剤注入中は、患者さんの側で副作用の出現がないか声をかけをしながら行っています。

心臓カテーテル、脳血管内治療ともに少しでも早く治療できることが重要なため、医師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師が一丸となり迅速な対応ができるように努めています。

吸入薬について

吸入薬は薬剤によって吸入方法が異なり、十分な効果を得るためには正しい吸入方法が必要です。今回は気管支喘息や慢性閉塞性肺疾患(COPD)で用いられる、おもな吸入器の種類と吸入方法を紹介します。

簡易吸入器の種類

●「エアゾール型」



ボンベ内の薬剤を噴霧させてゆっくり吸入するタイプ
噴霧と吸入のタイミングを合わせる必要があります。

吸入をより簡単にするための補助具
(スパーサー)もあります。



●「ドライパウダー型」



粉末の薬剤を勢いよく吸い込むタイプ
吸入する力が必要なため、幼児や高齢者には難しいことがあります。

一般的な吸入方法

- ①十分に息を吐き出します。
- ②**エアゾール型**
吸入口を口にくわえ、息をゆっくり吸い込みながら押しボタンをします。(唇より吸入器を約3cm離して吸入する方法もあります。)
- ドライパウダー型**
1回量をセットし、吸入器を持ちます。吸入口を口にくわえ、息を強く深く吸い込みます。
- ③吸入器から口を離して約3～4秒間息を止め、その後ゆっくり静かに息をはいて、元の呼吸に戻します。
- ④(複数回吸入の場合は①～③を繰り返します。)
- ⑤吸入後は水でうがいをしましょう。
口の中から薬が吸収されるのを防ぎ、全身性の副作用を起こりにくくします。
特に吸入ステロイドの場合は、口の中にカビが発生するのを防ぎます。



吸入薬には発作の予防用と治療用の2種類があります。予防として処方されている場合には、発作がなくても毎日定期的に吸入することが大切です。吸入方法をよく確認し、自己判断で勝手に吸入をやめないようにしましょう。



今年の抱負



● 12病棟 高澤 遥



早いもので2年目も終盤にさしかかっています。この2年間は毎日が勉強の日々でした。正直つらいことも…。ですが、優しい先輩方に支えられここまでやってこれたと思っています。「常に笑顔」をモットーに今年1年も公私ともに充実した生活が送れるように頑張ります！

● 18病棟 岩重 爽



入社してあっという間に2年が経とうとしていますが、18病棟の先輩方に支えていただき毎日楽しく元気に働いています。勤務する度、自分の未熟さを痛感する日々ですが、“七転八起”という言葉を胸に、3年目となる今年も初心と笑顔を忘れずに頑張りたいと思います！

● 医療相談室 東 満理子



入社1年目ですが、あっという間に1年が終わろうとしています。毎日が勉強で、先輩方や関係部署等に助けて頂いている日々です。今年も、毎日、毎日の小さなことの積み重ねを大事にし、公私ともども充実した1年になるように頑張りたいと思います。

● 副理事長・事務長 田部 公宏



まずは元気で還暦を迎えられることに感謝します。最近はずむの時間並みに時が過ぎます。ゾウの時間とまでは言いませんが、せめて干支と同じサル並みの時間を希望したいものです。公私にわたり今後の人生を豊かなものにするために、体力はもちろんのこと、気力の充実がとても大切だと考えています。

● 外科 武藤 純



まだまだ若手のつもりですが、気づけば平成28年で医者9年目、自分が研修医の時の指導医の学年を超えました。そして、年齢は36歳、3度目の歳男。今年（平成27年）の年末には長男も生まれて、2児の父になります。後輩にも、子供たちにも、かっこいい背中を見せたいです。平成28年は、これまで以上のスピードでstep upしたいと思います。

● 放射線部 田崎 邦彦



私の体力が落ちていく一方、どんどん成長していく子供たち。特に長男は去年からラグビーを始め、何かと私に挑んできます。父親の威厳を保つべく、必死に挑戦を受けますが歳には勝てず、私の体は悲鳴を上げます。しかし、子供たちにとって高い山であり続けたい、頑張る姿を見せ続けたい。そのために、公私ともに頑張ります。

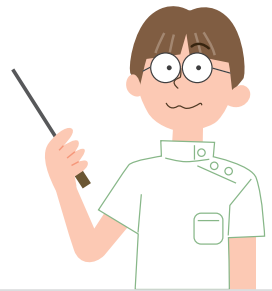
臨床検査技師の

やさしいゼミ

検査の略語

検査結果をもらっても、略語が多く、何のことか分からないといったことはありませんか？

そこで普段よく行われる検査について、略語の意味をやさしく解説します。



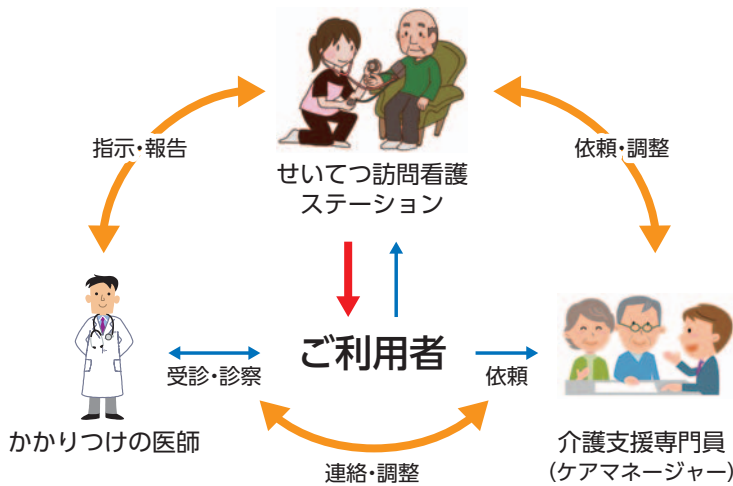
	検査項目	日本語訳	基準値	検査の説明
凝固検査	PLT	プロトロンビン時間	70.0-130.0 (%)	出血傾向や肝機能の検査として用いられます。また、ワーファリン®等の抗凝固療法の効果をみるのにつかわれます。
		PT-INR	—	
	APTT	活性化部分 トロンボプラスチン時間	28.2-41.0 (秒)	出血傾向の検査として用いられます。
貧血	Fe	血清鉄	男性 70-190 (μg/dl) 女性 60-170 (μg/dl)	鉄は赤血球中のヘモグロビンを構成する成分のひとつです。また、これらの項目は鉄欠乏性貧血症を診断するために必要な検査です。
	TIBC	総鉄結合能	男性 250-380 (μg/dl) 女性 250-450 (μg/dl)	
	Fer	フェリチン	男性 30-200 (ng/ml) 女性 4- 97 (ng/ml)	

せいてつ訪問看護ステーション開設

訪問看護とは？

病気や障害を持った人が住み慣れた地域やご家庭で、その方らしく療養できるように、看護師が生活の場に訪問し、主治医の指示により療養のお世話や医療処置を行うサービスのことです。

せいてつ訪問看護ステーションは、急性期病院での十分な医療知識を備えた経験豊富な看護師が、医療依存度の高い患者さん、終末期の患者さん、そしてご家族の皆さんにも安心してご家庭で生活していただけるような訪問看護をめざします。



左より 甲斐 幸子所長、古賀 由美、丸尾 圭子、新留 晴香、川越 紫穂未

問い合わせ先

社会医療法人 製鉄記念八幡病院
せいてつ訪問看護ステーション

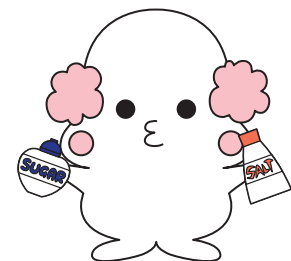
TEL 093-671-9741
FAX 093-671-9747

1月24日はJR小倉駅に集合！

糖尿病 & 減塩フェスタ in JR小倉駅

1月24日(日)に行われる、イオン戸畑店主催のイベント「元気発進！北九州 in JR小倉駅」に、当院も参加いたします。ぜひ、お越しください。

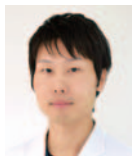
- 出展時間：10時から13時
- 場 所：JR小倉駅コンコース (JAM広場)
- 内 容：講演「糖尿病の予防と治療」
減塩・栄養相談、健康相談、お薬相談
各種測定(血糖・血圧・握力) など



当院、生活習慣病啓発キャラクター「さとしお」

新任医師紹介

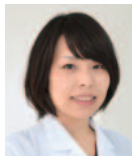
10月より3名の新任医師が新たに着任し、診療に励んでいます。
ご心配なことがあれば気軽にご相談ください。



■循環器・高血圧内科

岡部 宏樹 おかべひろき

循環器内科医として勤務させていただくこととなりました。どうぞよろしく申し上げます。



■呼吸器内科

福田 洋子 ふくだようこ

このたび、田原先生の後任として参りました。少しでもお役に立てるよう頑張ります。よろしく申し上げます。



■放射線科

杉本 康一郎 すぎもと こういちろう

放射線科の杉本と申します。画像診断や血管内治療で、皆さんのお役に立てるよう頑張ります。



糖尿病 & 減塩フェスタ

を開催しました！

11月14日(土)、「世界糖尿病デー」にちなみ、当院において「糖尿病&減塩フェスタ」を開催いたしました。血糖や血圧、筋肉量の測定コーナーや、味噌汁塩分好みチェック、足のお手入れ体験などの催しがあり、2時間の開催でしたが約120名を超える多くのご参加をいただき大盛況でした。



診療科目

がん診療センター	循環器・高血圧センター	脳卒中・神経センター	内視鏡センター	腎センター		
内科	肝臓内科	消化器内科	循環器・高血圧内科	心臓カテーテル検査科	糖尿病内科	腎臓内科
心療内科	脳血管内科	呼吸器内科	小児科	外科	消化器外科	呼吸器外科
脳神経外科	整形外科	リウマチ科	リハビリテーション科	形成外科	産婦人科	皮膚科
泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	緩和ケア外科	病理診断科	放射線科	麻酔科
歯科・口腔ケア科						

専門外来

内科	血液外来／甲状腺外来／膠原病外来／ペースメーカー外来／腹膜透析外来／禁煙外来	呼吸器内科	SAS外来（睡眠時無呼吸症候群）	整形外科	リウマチ外来
心療内科	カウンセリング	小児科	小児循環器／小児神経／小児腎臓／小児肥満	放射線科	放射線治療外来
		外科	乳腺外来	緩和ケア外科	緩和ケア外来

■予約センター：093-671-5489

■夜間休日急患受付：093-672-3111

全科予約制

予約受付時間 8:00～16:00

当日予約 10:30まで

休診日：土曜、日曜、祝日



使命

住民の暮らしを支え、健康長寿をめざした地域づくりに貢献します

理念

皆さまが納得・安心する最良・最適の医療を提供します

職員が誇りと自信を持つことができる職場づくりを追求します

伝統を継承し、未来を見据え、地域から信頼される病院をめざします

編集後記

今号をもって編集部会を引退することとなりました。約10年間広報誌の編集に携わり、取材活動は日頃の業務から離れ一番楽しかったように思います。広報誌とともに当院も長く愛されるよう努力してまいります。

リハビリテーション部
松永 裕也

こんにちは
せいてつ
病院です

発行日
2016年1月1日

発行部数
4,200部

社会医療法人 製鉄記念八幡病院
〒805-8508 北九州市八幡東区春の町1丁目1-1
TEL 093-672-3176
http://www.ns.yawata-mhp.or.jp
編集・発行責任者：病院長 土橋 卓也

●広報誌へのご意見はこちらまで koho@ns.yawata-mhp.or.jp
●地域医療連携のお問い合わせ TEL 093-671-9700

デザイン編集・印刷：よしみ工業株式会社 表紙イラスト：かわぐち たまよ

